熊谷市
記者クラブ取材情報

令和7年2月20日発表
担当課:商業観光課

タイトル
熊谷肉汁うどんスタンプラリー第3弾実施！

1．日時　令和７年２月２１日（金）～５月２２日（木）

2．場所　熊谷市内２０店舗　市外５店舗

3．事業概要

小麦の産地である熊谷で昔から親しまれてきたうどん文化の発信及び地域活性化を目的とし、熊谷肉汁うどんスタンプラリー第３弾を実施します。
今回は、市内２０店舗、市外５店舗の合計２５店舗が参加します。
実施期間は、令和７年２月２１日(金)から令和７年５月２２日(木)までです。
スタンプラリーには、対象店舗の特集記事とオリジナルストーリーの続編を掲載したラリーブックに加え、市公式LINEアプリ「クマぶら」を利用して参加することができます。

◯特設ページ
URL: https://www.oideyo-kumagaya.com/kumagaya-nikujiru-udon-spirit-s/

4．特徴やPRポイント

ラリーブックは、実施店舗をはじめ、商業観光課、大里・妻沼・江南行政センターなどで入手することができます。
獲得スタンプ数及びエリアに応じて、様々な景品を用意しています。
◯ラリーブックによる景品
・スタンプ　１個→ステッカー２種類（先着）
・　３個→ステッカー２種類（先着）
・　５個→ラリーブックケース２種類（先着）
・１０個→手ぬぐい（抽選）
・１５個→ビーチサンダル（抽選）
・２０個→勲章Ｔシャツ（全員）
・２５個→勲章ピンバッジ（全員）
◯クマぶらによる景品
・スタンプ　３個→壁紙２種類（全員）
・　５個→うどん乾麺（抽選）
・１０個→手ぬぐい（抽選）
・１５個→ビーチサンダル（抽選）
・２０個→うどんグッズ（抽選）
・２５個→うどんグッズ（抽選）
※紙（ラリーブック）とデジタル（クマぶら）方式の両方での参加も可能であるため、この場合、景品の当選確率が高くなります。

5．その他

【問合せ】（一社）熊谷市観光協会　時田、依田
048-594-6677（平日8：30～17：15）

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）　※市HPの掲載（ 有 ・ 無 ）

担当者　商業観光課　青木、斉藤
連絡先　内線312　048-524-1473（直通）

熊谷UDON連合広報新聞

KUU広報新聞社（熊谷市観光協会内）
〒360-0041 熊谷市宮町2-95 間庭ビル2F
電話 048-594-6677

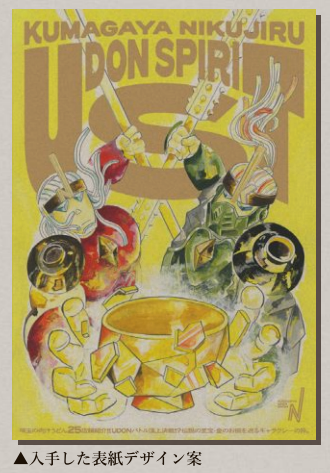
肉汁うどんスタンプラリー 第3弾実施決定

次回は県南西部とバトル

1 熊谷市観光協会は、第3弾となる肉汁うどんスタンプラリーの開催を決定した。開催期間は、2月21日（金）～5月22日（木）の3ヶ月間で、熊谷市内のうどん店を中心に25店舗が参加する。参加方法は、ラリーブックのアナログ参加と、市公式LINEアプリ「クマぶら」のデジタル参加があり、併用による特典も。

昨年実施されたスタンプラリーの記憶も冷めやらぬなか、第3弾のスタンプラリー企画が密かにスタートしていると聞き、KUU・企画攻撃隊長のT隊員に話を聞いた。前回は熊谷市内19店舗、市外8店舗の計27店舗での実施であったが、次回の概要は？「次回のスタンプラリーは伝説の幕開けとなる」と静かに語り出したT隊員。「次回は、熊谷市内20店舗に加え、埼玉県内の有名店5店舗が参加、計25店舗となる。開催期間を2ヶ月間から3ヶ月間に延長することでゆっくりとスタンプラリーを楽しんで欲しい」とのこと。気になる景品は？「参加者が隊員になりきり、普段使いできる物を考えた。ステッカーは4種類、ラリーブックを入れるケースや、前回好評だった手ぬぐい、暑い熊谷にふさわしいビーチサンダルを新たに景品に加えた。熊谷エリア20店舗制覇で、もれなく勲章Tシャツをプレゼント。市外を含む全25店舗制覇で、もれなく勲章ピンバッジ。更にクマぶら専用の景品も用意している」と息巻く。まずは参加店舗や公共施設でラリーブックを手に入れよう。配布は2月20日（木）以降を予定。

まずは…ラリーブックを！



▲入手した表紙デザイン案

熊谷エリアの参加店舗は、①元祖熊谷うどん福福 ②そば処尾張屋 ③田舎っぺうどん（次回は熊谷市内の支店でもスタンプを押せる）④ファーマーズレストランくまどん ⑤こんこ屋 ⑥鉄鍋うどん和み ⑦熊谷ふじのこしうどん ⑧月うさぎ ⑨そば処木村屋 ⑩清気庵 ⑪天狗屋 ⑫熊谷うどん 熊たまや ⑬加賀家食堂 ⑭うどん宮路 ⑮お食事処なご味 ⑯うんどんさくら屋 ⑰瑞生庵 ⑱砂場（初） ⑲穂 ⑳うどん処はるちゃん（初）。

市外の参加店舗は、①本手打ちうどん庄司（川島町）②手打ちうどん小山屋（さいたま市）③手打うどん長谷沼（川越市）④うどん古久や（飯能市）⑤三丁目の手打うどん（狭山市）。

エリート隊員に「意気込み」を聞いてみた

前回スタンプラリーでは、27店舗全店制覇した参加者が105名おり、そのうち3名は2周し、〈エリート隊員〉の称号を得た。昨年6月に開催された第1回KUU隊員総会において、表彰を受けた〈エリート隊員〉のひとりであるY隊員から意気込みを聞いた。


▲総会時表彰の様子

昨年1年間に436杯のうどんを食したというY氏。まずは昨年表彰されたことについて感想を聞いてみた。「〈総裁〉から直接表彰されたのは名誉なこと。特製（特別色）の勲章ピンバッジにも感激した」と上機嫌。第3弾となるスタンプラリーについて今どう思っている？「範囲が広がったことで大変だと思うが、隊員（参加者）同士励まし合い頑張りたい」と意気込みを語ってくれた。最後に熊谷のうどんに対する思いを聞いた。「熊谷のうどんは最高の一言に尽きる。スタンプラリーは他の隊員とのコミュニケーションも楽しみのひとつ。ラリーブックはあえて見えるように持ち歩こう」。

TOPICS

1. 肉汁うどんスタンプラリー 2月21日（金）から 5月22日（木）まで
2. 前回までのストーリーおさらい
3. うどんパワー偏差値とは!?
4. 肉汁うどんCMが優秀賞受賞

熊谷産小麦“さとのそら”100%使用の乾麺！



スタンプラリーのもっと詳しい情報は、観光協会HPへ

＊このチラシは、熊谷肉汁うどんPRキャンペーン2024-25の一環で作成しています。

肉汁うどんスタンプラリー第3弾 景品はこちら！

KUMAGAYA UDON UNION

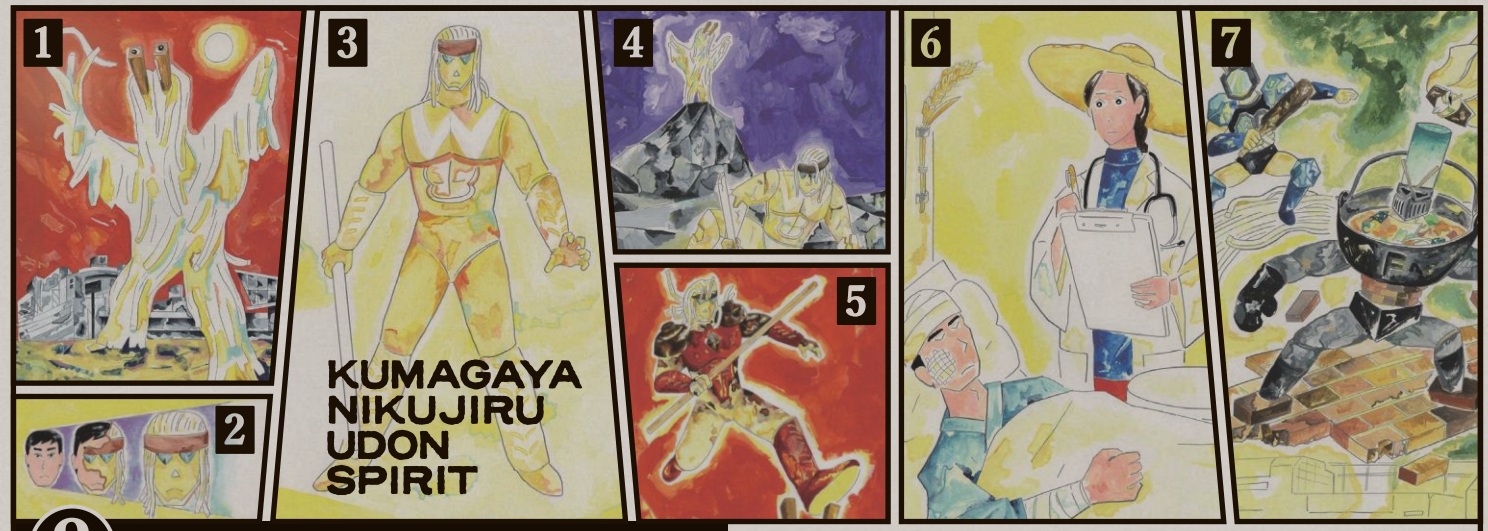
- ステッカー：スタンプ3個でなんと4種類も（＊熊谷・県南西部エリアそれぞれ2種類）
- 手ぬぐい：スタンプ10個で抽選200名（＊熊谷エリアのみ）
- 勲章Tシャツ：スタンプ20個でもれなく全員に（＊熊谷エリアのみ）
- 勲章ピンバッジ：スタンプ25個でもれなく全員に
- ラリーブックケース：スタンプ5個で先着1700名
- ビーチサンダル：スタンプ15個で抽選150名（＊熊谷エリアのみ）

KUUの隊員になって今すぐグッズを手に入れよう！

※デザインは当選後のお楽しみ

令和7年2月1日（土）

熊谷UDON連合広報新聞



② スタンプラリーブック 前回までのストーリーおさらい

1 20XX年、日本一の“ウドン県”とも言われる香川のご当地怪獣・ウードンが熊谷に襲来

2 彼の名前は、権田育三。熊谷UDON連合のキャプテンであり、麦づくりの伝道師「麦翁」こと権田愛三の末裔だ

3 讃岐の脅威から逃れた権田が見つけた光り輝く麺棒。ピカッニューヒーロー「キング・ウィート」の誕生だ

4 一度はウードンに破れたキング・ウィート

5 肉汁アーマーをまとうことでパワーアップ！ バージョンN！国産小麦の聖地・熊谷の反撃が始まった

6 ウードンとの戦いによって“麦力（ばくりょく）”を失ってしまった権田に救いを差し伸べるのは荻野吟子の末裔である荻野キンコ

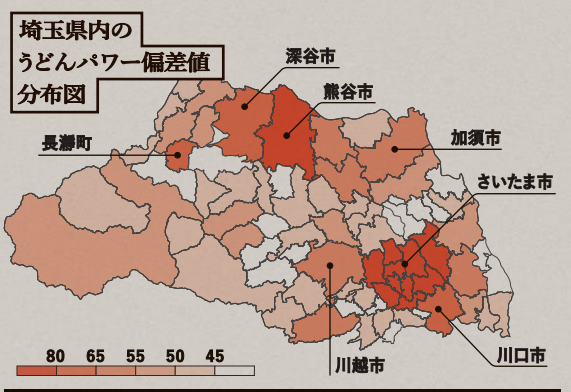
7 埼玉UDON艦隊の3強「SAITAMAスリーヌードルズ」襲来

③ うどんパワー偏差値とは？ 熊谷UDON連合の可能性について

KUU総合研究所（熊谷市観光協会内）は、全国のうどんパワー調査を行った結果、全国の中で埼玉県は3位であり、埼玉県内で熊谷市が2位であることが判明し、熊谷市が全国でも有数のうどんシティーであることを証明した。調査は4つの指標（①人口②うどん店数③人口10万人に対してのうどん店数④小麦収穫量）により評価、最終的に偏差値に変換してランキングしたもの。担当調査官は「消費と生産のバランスの良さでいえば、埼玉県と熊谷市は実質全国1位。うどんの取組みによるポテンシャルの高さは全国でもトップレベルだと言える」とコメント。

埼玉県ランキング上位
1位：さいたま市（99.6）
2位：熊谷市（86.4）
3位：長瀞町（75.0）
4位：川口市（66.1）
5位：深谷市（61.3）
6位：川越市（58.4）
7位：加須市（57.9）

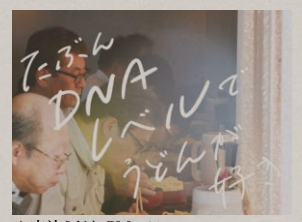
全国ランキング上位
1位：東京都（84.0）
2位：北海道（79.9）
3位：埼玉県（66.2）
4位：香川県（65.6）
5位：愛知県（64.1）
6位：大阪府（61.8）
7位：神奈川県（60.9）



熊谷市を中心とした県北の小麦生産が盛んなエリアと、さいたま市を中心とした県南の人口密集エリアが高ポイントであることがわかる。次回スタンプラリーの南北対決の構図と一致する。

④ 祝 肉汁うどんCMが優秀賞受賞

熊谷市観光協会が製作した、『熊谷市グルメCMシリーズ』が、一般財団法人地域活性化センター主催の「地域プロモーションアワード2024／ふるさと動画大賞」で準グランプリにあたる優秀賞を受賞した。3年連続の受賞は全国初の快挙。



▲肉汁うどんCMのワンシーン

受賞したグルメCMシリーズ・コンピレーション版は、肉汁うどん編／妻沼のいなり寿司編／五家宝編／雪くま編／ホルモン編の全5編から構成され、熊谷市の日常食として長年地元で親しまれてきたグルメを紹介。なかでも肉汁うどん編は審査員から「躍動感があって必見」と評価が高い。一昨年の『雪くまガイド』審査員賞、昨年の『肉汁うどん冊子』大賞に続いて3年連続の受賞は全国でも初となる快挙。まだご覧になっていない方はQRコードへ！

観光協会YouTubeチャンネル

駅にキング・ウィート登場!!


▲読者からの投稿画像

駅の大階段にキング・ウィートが登場し話題を呼んだ。階段アートが設置されたのはJR熊谷駅と籠原駅の北口大階段で、昨年7月にお披露目。既に展示は終了している。大迫力の姿に読者から驚きの声が寄せられた。「いつものように駅に行くと、大迫力のキング・ウィートがいて驚きました。毎日の通学時にうどんパワーをもらえるようで嬉しいです。（17才／学生）」

熊谷UDON連合シリーズ 隊員グッズ絶賛販売中

うどん箸
伝統工芸「若狭塗」のお箸。箸先に切り込みが入った、うどんに最適なお箸。

約22.5cm／約13g
天然木（オーク）
2,500円（税込）

トートバッグ
小麦をモチーフにしたパターンをあしらったトートバッグ。2色展開。大容量で使いやすい。

約W36×H36×D11（cm）
綿100%／10L
ナチュラル地／黒地
2,200円（税込）

手ぬぐい
小麦をモチーフにした色鮮やかな手ぬぐい。2色展開。ギフトにおすすめ。

約90×34（cm）
綿100%
白地／黄色地
1,800円（税込）

専用めん
熊谷産小麦「さとのそら」を100%使用した喉越しの良い味わいのうどん乾麺。


細めん
太めん
980円（税込）